

LIBRARY NEWS

令和4年9月29日 No.6

新座市立第三中学校

校長 和久井 功雄

(図書室だより) 図書整理員 名本 浩子

ようやく真夏日から抜け出し、肌に受ける風が、さらっとして気持ちよく感じられる季節になりました。先週の23日は秋分の日でしたが、辺りが暗くなった頃に時計を見ると、ずいぶん日が暮れるのが早くなったことに気づかされます。作者、清少納言が『枕草子』の第1段の「秋は夕暮れ。」の段落で書いているように、「日入りはてて」の秋の風や虫の音を聞きながら、秋の夜長を「読書」というのも、いうべきにあらず、いいですよ。

さて、シルバーウィークの9月の連休は、あいにく、台風の影響で、悪天候になりましたが、毎年、旧暦の秋の7月から9月にかけては、台風が多く発生していて、台風がもたらす暴風を表す「野分」は、秋の季語です。

もともと、日本語に「台風」という言葉はなく、「野分」を使っていたそうです。「台風」は、英語の「typhoon」からとったと言われていて、大正時代頃から一般的に使われるようになったようです。意外と、「台風」という言葉の歴史は、新しいのですね。

『源氏物語』にも、「野分」という帖(巻)があって、台風の日、人々が家のなかで、あわただしくしている様子が描かれています。また、『枕草子』の第二百段の冒頭では、「野分のまたの日こそ いみじう あはれに をかしけれ。」(野分が吹いた日の翌日は、大変しみじみと 趣深く、いいものだ。)と記されています。芭蕉の俳句にも詠まれていて、古典でも、野分の風の強さやその風情が多く語られています。

野の草を吹き分けるほどの激しい風。今と違って、気象衛星もない時代。木の枝がたくさん折れ、瓦がすべて吹き飛んでしまう。その恐ろしい暴風雨の自然現象を、「野分」と名付けたところに、昔の人の、自然と生活との近さを感じるとともに、表現の豊かさに感心されます。

「野分」と言えば、深緑野分という作家が書いた『この本を盗む者は』という作品が、2021年の本屋大賞にノミネートされました。本の街、「読長町」に暮らす本嫌いの少女。彼女の曾祖父が集めた蔵書を誇る書庫から本が盗まれ、呪いによって街は物語の世界に変わってしまう。泥棒を捕まえない限り、世界は元に戻らない。街を救うため、少女は本泥棒を探しに物語の世界に飛び込んでいく。三中の図書室にも この本があります。

今回は、この『この本を盗む者は』と同じように、本の世界に飛び込んで、冒険するファンタジー小説に関するクイズです。主人公は、空想したり、お話を作ったりするのが大好きな少年。ある日、古本屋で見つけた1冊の本。彼は、この本の中の世界に入り込んでいき、滅亡寸前だった国を救う。それで、なんでも望みがかなう力を手に入れるが、一つの望みと引き換えに、現実世界での記憶を一つ失うことに……。映画にもなった、この小説は、次のうちのどれでしょう。

- ① クライブ・ステープルス・ルイス 作 『ナルニア国物語』
- ② ミヒヤエル・エンデ 作 『はてしない物語』
- ③ ジョン・ロナルド・ロウエル・トールキン 作 『指輪物語』



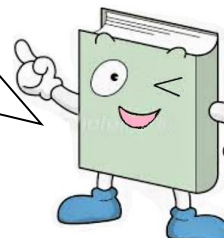
前号のクイズ、サン＝テグジュペリの『星の王子さま』の主人公の僕が描いた絵は、大蛇ボアに飲み込まれた①のゾウの絵でした。



今回のクイズのヒントの本は、書架の43、分類番号「943」(外国の文学)にあります。外国の小説も、おもしろいものがたくさんあります。あなたが手にしてくれるのを待っています。ぜひ、読んでみてください。

図書購入のリクエスト

注文の最終締め切りの期日が延びたため、校内でのリクエスト受け付けの締め切りを延長します!



校内の締め切りは
10月14日(金)
ですが、なるべく早
めにお願ひします。

秋の夜長 ミステリーの謎解きが止まらない!

『氷の致死量』 榎木 理宇 著

(早川書房)



『死刑にいたる病』の原作者が放つ、新たなシリアルキラー(連続殺人犯)・サスペンス

聖ヨアキム学院に赴任した鹿原十和子は、この学院で、14年前、自分に似た教師が殺害された事件に興味を持つ。街を脅かす連続殺人犯、八木沼武史の5番目の獲物は、十和子の教え子の母親だった。殺人鬼に聖母と慕われた教師は、惨殺の運命を逃れられるのか?!

『真夜中のマリオネット』 知念 実希人 著

(集英社)



私が救ったのは、天使か、悪魔か—

救急救命医の小松秋穂は、死ぬほどの重傷を負った少年の命を救う。しかし、彼には、連続殺人の容疑がかけられていた。果たして、彼は心清らかな被害者なのか、むごいことを平気とする殺人鬼なのか。

「死神シリーズ」第3弾も一緒に!



『棘の家』 中山 七里 著

(KADOKAWA)



真犯人は家族の中にいる!?

娘がいじめを苦にして飛び降り自殺を図った。そして、娘をいじめていた少女が行方不明に。休職して父親の責任を果たそうとする中学校教師の父。復讐を誓った元教師の母。何かを隠している息子。「どんでん返しの帝王」の作者が、人間の裏の顔を暴き出す家族ミステリー。

『絶対名作! 十代のためのベスト・ショート・ミステリー』全4巻 (汐文社)



大人気作家の作品から厳選したショートストーリーを収録。

- ・謎解きミステリー 有栖川有栖、綾辻行人 道尾秀介 著
- ・学園ミステリー 恩田陸、米澤穂信、青崎有吾 著
- ・涙と笑いのミステリー 宮部みゆき、米原百合、阿津川辰海 著
- ・異界のミステリー 近藤史恵、竹本健治、皆川博子、山白朝子 著

食欲の秋 にぴったりのタイトル 身も心も温かく満たされます。

『宙ごはん』

町田そのこ 著 (小学館)



愛し方がわからない産みの母と、甘え方がわからない宙。「家族」を手探りする二人には、記憶に残る食卓があった。(出版社の紹介から)

『カレーの時間』

寺地はるな 著 (実業之日本社)



祖父との「カレーの時間」の共有で、孫は祖父のことを理解し、絆を深めていく。そんな心の温まる時間の話。

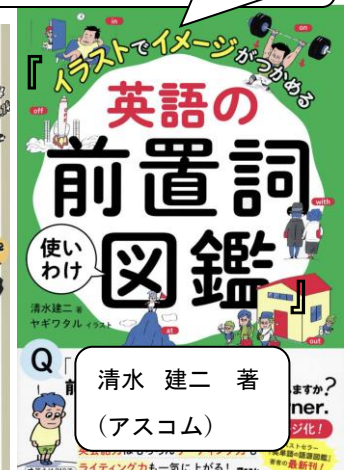
テスト対策ならこれ!

苦手教科を楽しく学ぶコツを、学者、教育YouTuberなど24人が解説。

in or on?よく使う31個の前置詞の使い分けを、イラストで、わかりやすくイメージ化!



14歳の世渡り術



清水 建二 著 (アスコム)